

令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡

1 事業の成果

平成28年4月から指定管理者として事業受託した福岡市立ひとり親家庭支援センター（以下、センターという）の管理・運営の第3期4年目である。指定期間は平成28年度～令和2年度の5年間である。

第1日曜に単独で開催している「子育てひろば」が周知され、利用者が拡大した。就業支援講習会に正・准看護学校受験対策講座を新たに加えた。「養育費・面会交流セミナー」、「子育て講座」、「家計管理」を引き続き実施してライフプランを考えたり、子育ての悩みを共有する機会とした。しかし、「親子クッキング」はコロナ拡大防止のため、中止になった。また、ひとり親家庭無料職業紹介事業での紹介件数は少ないが、求職者にハローワークインターネットサービスから情報提供し、就職へとつなげた。

福岡市ひとり親家庭自立支援プログラム策定事業は伴走型の就業支援である。制度が周知され、生活保護受給者等就労自立支援事業を使い、マザーズハローワークやハローワークと連携して多くの就職につながった。

子育て支援事業のメインイベントである夏休み親子リフレッシュ事業は香椎花園（福岡市東区）に行き、レストランで食事の後、乗り物フリーパスやプールなどで遊園地を楽しんだ。国際ソープチミスト福岡中央より寄付金をいただいているので、費用の一部にあて、食事会場や屋内遊具では子どもを遊ばせながら参加者どうしの交流が図られた。

センターで実施して8年目となる「夏休み学習教室」には今年初めて高校生ボランティアも参加し大学生ボランティアと共に講師となり、小学校3年生から6年生までの子どもたちががいきいきと通った。3月末の「春休み学習教室」は中止になった。

運営委員会では、子育て中のシングルマザー3名からの要望を聞き、「福岡市母子福祉会芙蓉基金」ひとり親家庭等福祉振興助成事業の助成金を活用し、3回目となるクリスマス会を開催した。今年は違うマジシャンがボランティアでマジックを披露され巧みな話術で大いに盛り上がった。チャリティーサンタからサンタも駆けつけ、一人ずつに絵本がプレゼントされ、子どもたちの嬉しそうな顔が印象的だった。玩具の寄贈があったので、幼児もできるゲームを使って、当たりのおもちゃやおやつクラブから提供されたお菓子の詰め合わせやおもちゃを渡した。フルーツケーキやりんごをお土産に帰路についた。

恒例の花見は、コロナ拡大防止のため、中止とした。

福岡市男女共同参画推進センター・アミカスの市民グループ活動支援事業は「シングルマザーのためのHAPPYエンパワメント講座」を開催した。しんぐるまざあず・ふぉーらむ（東京）が昨年開催した「ファシリテーター養成講座」の受講を活かし、各地域で実践したもので、講師も派遣された。自己尊重を高めるために、短所を長所に置き換えるグループワークでは、各自が短所とと思っていることを参加メンバーからはどのように見えるかを話し合った。自分では気づかない評価や物の見方に触れられ、最後には全員から前向きなメッセージを受け取った。「元気が出た」、「固定観念にとらわれていたことに気づいた」、「お互いに励ましあえ、エンパワーできた」などの感想が寄せられた。

ゆるやかなネットワークであるシングルマザー全国連絡協議会をもう一段パワーアップさせ、発信力を高めるため全国組織として立ち上げ、設立総会を7月に開催すべく、ZOOMによる会議を4月からスタートした。「シングルマザーサポート団体全国協議会」の設立総会は7月7日、その前々日に記者会見と厚生労働省訪問、前日に協議会の会議が開催された。参加団体は22、協力団体も各地から名乗りを上げられ、新しい出会いは新鮮で、毎月1度ペースでZOOM会議で取り組むべき課題を話し合った。11月5日には政策提言の院内集会、12月には未婚の母子家庭等への寡婦（寡夫）控除適用、養育費への提言提出など大きなうねりを作り出している。直接の行動には参加できないが、全国協議会スタートがひとり親家庭の声を届ける契機になっていると感じる1年だった。

2月に新型コロナウイルスの感染が報道されると福岡でも1人目の感染者が2月20日に報告され、28日から小、中、高校の全国一斉休校が要請され、ひとり親家庭の生活に多大な影響を及ぼす事態になってしまった。当初、春休みまでが5月の連休明けまで延長され、子どもの世話と仕事を含めた経済的な不安が押し寄せている。団体として具体的な支援はできていないが、今後長期化するようであれば、直接的な支援に取り組む予定である。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
就労支援事業	福岡市立ひとり親家庭支援センターの無料職業紹介事業を受託	平成31年4月～令和2年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	2人	福岡市内のひとり親、寡婦 245人	0
相談事業	当事者による離婚、生活相談	平成31年4月～令和2年3月	当会事務所	1人	主としてひとり親 6人	0

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
セミナー事業	HAPPYエンパワメントセミナー	令和1年10月14日	福岡市男女共同参画推進センター・アミカス	5人	主としてひとり親 10人	20
	ひとり親家庭のつどい ワークショップスタッフ	令和1年11月17日	福岡市立ひとり親家庭支援センター	1人	福岡市内ひとり親と子ども 25人	3
出版事業	母子家庭に関する 会報の発行	年4回(6月、9月、 12月、3月)	当会 事務所	4人	購読者 100人	87
子育て 支援事業	リフレッシュ事業 夏のレクリエーション	令和1年7月28日	福岡市東区 香椎花園	2人	ひとり親と子ども 38人	104
	夏休み学習教室	令和1年8月20日 ～8月24日	福岡市立ひとり親家庭支援センター	2人	ひとり親家庭の子ども 13人	13
	親子で楽しむクリスマス	令和1年12月22日	大手門保育園 子育て支援室	3人	ひとり親と子ども 74人	146
	春休み学習教室 (プログラミング学習1日含む)	新型コロナ拡大防 止のため中止	福岡市立ひとり親家庭支援センター	0人	ひとり親家庭の子ども 0人	0
	花見	新型コロナ拡大防 止のため中止	福岡市天神中央公園	0人	ひとり親と子ども 0人	0
調査・研究 事業	実施せず					
福祉事業	シングルマザーフリーマ ケット	令和1年12月22日	福岡市立ひとり親家庭支援センター	3人	福岡市内のひとり親 30人	0
	提供された物品の配布 (おてらおやつクラブ、西日本 新聞民生事業団、認定NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉー らむ)	平成31年4月～ 令和2年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	5人	福岡市内のひとり親、寡婦 200人	0
他団体の 事業受託	福岡市立ひとり親家庭支援セン ターの管理・運営	平成31年4月～ 令和2年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	5人	福岡市内のひとり親、寡婦 9626人	48,359
	福岡市ひとり親家庭等日常生活 支援事業	平成31年4月～ 令和2年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	5人	福岡市内のひとり親、寡婦 136人	1,287
その他法人 の目的達 成の為の事 業	シングルマザーサポート団体 全国協議会活動	令和元年4月～ 令和2年3月 令和元年7月7日	各団体 事務所にてZOOM会議 設立総会(東京)	1人	参加団体 20人 参加者 120人	75